

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	京田辺市児童デイサービス事業所「ふれあい教室」			
○保護者評価実施期間	令和7年10月1日 ～ 令和7年10月31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数)	5人
○従業者評価実施期間	令和7年10月1日 ～ 令和7年10月31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8人	(回答者数)	8人
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年12月19日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・専門職による充実した職員体制	・職員全員が専門職（保育士・公認心理師）で子ども1人に対し職員1人が配置できる体制で支援を行っています。また、事業所内で定期的に研修を行ったり、外部の研修にも参加し知識を習得し、よりよいサービスの提供につなげています。	・今後も事業所内で継続的に研修を行うとともに、外部の研修にも参加し、職員の資質向上を図り、支援の充実につながるよう職員間で情報共有していきたいと思います。
2	・保護者支援	・日々の支援後、保護者に子どもの様子を伝ええるとともに、定期的に面談をし、必要な助言と支援が行えるようにしています。また、個人の連絡帳や保護者の話からも相談内容をくみとり、いつでも話ができるよう体制を整えています。 ・療育中の待機時間は、保護者同士や職員との情報交換やコミュニケーションを深める時間となっています。	・今後も一人一人の保護者にその日の活動のフィードバックの時間を設けたり個別対応を充実させたりしながら、支援の充実を図っていききたいと思います。
3	・こどもの姿や発達段階に考慮したあそびを中心とした小集団の支援	・5領域を網羅した一人一人に合わせたねらいをもとに小集団の活動の中で、思いの表出や人と関わる経験が積めるように支援を行っています。 ・毎回の支援前にねらいや内容を共有し、支援後は振り返りを行い、職員間で共通認識しています。	・支援後の振り返りを行い、こどもたちが人との関係の中で安心して自分の思いを出せるような活動プログラムを考えていきたいです。 ・こどものやりたい、やってみたいという気持ちを大切にしながら、よりよい支援を提供できるよう、今後も職員間で話し合っていきたいと思います。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・施設の物的環境（築年数が経っているため、建物全体が古い）について	・古さゆえ、床や壁の傷みが目立つ。部屋の数と狭さ、収納の問題。	・建物全体は古いですが、安全点検を定期的に行うとともに、日々の清掃や消毒等を行い清潔な環境に努めています。また、限られた場所で発達に応じた支援が行えるよう整理整頓し、今後も安全に配慮した運動遊具の配置等の工夫をしていきたいと思っています。
2	・送迎のシステムがないこと	・保護者が仕事等のため送迎ができず利用できない。	・親子通所することで、保護者自身もいつでも安心して相談できたり、その日の療育内容の報告を聞いたり見たりしてこどもの様子を共有していきたいと思っています。また、保護者同士のつながりを支援したりさまざまな情報収集の場となるよう努めていきたいと思っています。
3			